



Nagoya Philharmonic Orchestra

平成 29 年度 事業報告及び決算について

創立以来、半世紀を超えた歴史ある楽団として、交響管弦楽による音楽芸術の普及向上を図り文化の発展に寄与するため、小泉和裕音楽監督のもと、公演内容の充実を図り、次のような演奏事業活動を行った。

1. 演奏事業

(1)オーケストラ演奏事業

①定期演奏会 <28 回>

内外の著名な指揮者・ソリストを招き、楽団のさらなる技術向上と音楽芸術の発展を目指して定期演奏会を開催した。

愛知県芸術劇場コンサートホール（4月から7月）及び日本特殊陶業市民会館（9月から3月）において、「音楽の都市・都市の音楽家」シリーズと題し、名古屋の姉妹友好都市を中心とした世界の都市ゆかりの出演者、曲目を取り上げ、年11回22公演を定期演奏会として開催した。

日本特殊陶業市民会館では、市民会館名曲シリーズとして、「ベートーヴェン・ツィクルス」を年4回、及び恒例の第九コンサートを年2回の計6公演開催した。

②巡回演奏会 <12 回>

地方自治体等の依頼により市町村において開催した。

③移動音楽鑑賞教室 <35 回>

小・中・高校生を対象に音楽鑑賞教室を開催した。

④特別演奏会 <11 回>

平成28年度に続き、東京特別公演をサントリーホールで開催した他、しら

かわシリーズ、豊田市ジュニアオーケストラと共演する豊田市コンサートホール・シリーズ、並びに障がいのある方などを対象とした福祉コンサートなどを開催した。また、新たに、平日午後のコンサートを開始した。

⑤依頼演奏会 <28回>

企業・団体等からの依頼により開催した。

合 計 114回

(2)アンサンブル(小編成)事業等

①サロンコンサート

音楽プラザの施設を利用した「サロンコンサート」を年15回開催した。

②まちかどコンサート

市民が集まる場所で、より名フィルが親しまれるよう開催している「まちかどコンサート」を、名古屋市主催のイベントなどと連携して実施した。

③依頼によるアンサンブル(小編成)演奏

企業や団体等からの依頼による「アンサンブル(小編成)」の演奏活動を実施した。

④公開リハーサル

市民との交流を深め名フィルへの認知度を高めるため「公開リハーサル」を年12回開催した。

⑤楽団員講師派遣事業

小中学校の授業に楽団員が数名講師として訪問し、演奏とともに音楽の魅力などを伝えた。

⑥ロビーコンサート

定期演奏会の開演前に、会場のロビーにおいて開催した。

⑦名フィルの日

ファン感謝デーとして、一日限りのアンサンブルや「キッズ楽器体験コーナー」などを実施した。

2. 音の向上基金事業

オーケストラ演奏事業の充実を図るため、「音の向上基金」を活用して指揮者5名、ソリスト7名の招聘を行った。

① 指揮者の招聘

『定期演奏会』には、ニコラス・ミルトン、アロンドラ・デ・ラ・パーラ、エドウィン・アウトウォーターを、『市民会館名曲シリーズ』には、ラルフ・ワイケルトを、『しらかわシリーズ』には、ハンスイェルク・シュレンベルガーを招聘した。

② ソリストの招聘

ピアニストのヤン・リシエツキ、ホルン奏者のシュテファン・ドール他を招聘した。

3. エール基金事業

楽団員の演奏技術の向上を図るため、楽器の購入資金を貸し付けた。